

競技注意事項（選手権）

1、規則

- ①本競技会は、2025年日本陸上競技連盟規則、及び本競技会開催要項、申し合わせ事項によって行う。
- ②スタートルールについて。競技規則TR16.7のとおりとする。ただし、小学生は2回の不正スタートで失格とする。

2、練習

- ①ウォーミングアップは、公園内競技場周回路等で危険防止に十分注意して行う。
- ②本部前直走路を除き競技場内での練習を、マーシャルの指示により許可する。
 - ・バックストレート走路は、係・マーシャルの指示により100m・200m・ハードル競技の時に、支障のない限り認める。
 - ・ハードル競技の練習は、マーシャルの時間及び練習レーン指示により認める。
 - ・フィールド競技の練習については、その競技開始前に競技役員の指示により競技場内で行う。
 - ・特に投てき種目については安全に十分注意し、競技場外での投てき練習は一切禁止する。

3、招集・競技場グラウンド入退場

- ①招集所は、100mスタート寄りのスタンド横に設ける。
- ②招集時間及び完了時間は下記の通りとする。（詳しくは競技大会タイムテーブルを参照）
 - ・トラック種目は 競技開始30分前招集開始 競技開始20分前完了 予定
 - ・フィールド競技 競技開始40分前招集開始 競技開始30分前完了 予定
- ③招集は1回で、上記の時刻までに競技者本人（代理人は認めない）が招集所に集合し、競技者係から点呼を受ける。
ただし、競技中のため招集に来られない場合は代理人が招集所に来ること。
招集確認を受けた競技者は、競技者係の指示に従い、スタート地点・フィールド試技待機場所へ行き、係の点呼を受ける。
- ④トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右腰後部に着装。（リレーは第4走者のみ）
- ⑤招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。（出発地点・競技場所で集合しても出場を認められない。）
- ⑥競技場への入場については競技者係の指示に従う。
 - ・競技者の手荷物は、スタート・試技前に係に指示された場所に、袋等に入れる等まとめ置き、整理整頓に努める事。
 - ・スタート・試技場所への入退場について、本部前の通過・フィールドの横断は厳に慎むこと。

4、競技使用シューズに関して

トラック競技のみTR5.2（競技用靴）に準じる。使用された靴に関して審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後審判長の権限で検査を行うことがある。フィールド競技（投てき種目）においては、TR5.2（競技用靴）のうち、靴底の厚さに関する規定を適用しない。よって、国内でのみ通用する記録として扱う。

5、アスリートビブス（ナンバーカード）および『腰ナンバー標識』

- ①アスリートビブスは（横約24cm×縦約16cm）各自が白地に黒字（約2cm）で胸と背の2枚を作成し、安全ピンとあわせて用意してください。ナンバーはスタートリストで確認する。腰番は競技者係より配布される。
- ②アスリートビブス（ナンバーカード）は胸（腹部ではない）と背に、切断・折り曲げなど加工をしないで、しわにならないよう伸ばし、固定し確実に着装する。ただし、跳躍競技は胸または背だけでよい。
- ③写真判定用『腰ナンバー標識』は右腰臀部に着装する事。ただし、リレーは第4走者のみとする。競技者はユニフォームの裾で『腰ナンバー標識』を覆い隠さないように、上ユニフォームを着用すること。
- ④アスリートビブス（ナンバーカード）は春季区民大会、選手権大会、ナイター記録会、秋季区民大会、で繰り返して使用するので紛失しないようにすること。

6、記録

- ①この競技会の記録については、（公財）日本陸上競技連盟への公認申請を行う。
- ②トラック種目の競走競技はすべてのレースにおいて、写真判定（電気計時）を採用する。
- ③写真判定計時は、同一記録の場合、0.001秒での着差判定を行う。
- ④競技記録判定が確定次第逐次、記録結果放送と掲示を行う。また後日決勝一覧表・記録をホームページに掲載する。

7、 フィールド競技について

- ① 本競技会で使用する用器具は、すべて主催者が用意したものとする。
- ② 走高跳を除くフィールド競技種目は試技3回の記録でTOP8を決定し、残り3回の試技により順位を決定する。
- ③ 小学生走幅跳、ジャベリックボール投は3回の試技で順位を決定する。
- ④ ジャベリックボール投は連続3回の試技を行う。
- ⑤ 走高跳のバーの上げ方 走高跳におけるバーの上げ方は基本 次の通りとする。

	練習	試 技								
中学男子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以後3cmずつ	
中学女子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以後3cmずつ	

	練習	試 技								
一般男子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	以後3cmずつ
一般女子	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50			以後3cmずつ

※荒天の場合は変更することもある。

※トラック競技とフィールド競技に出場する者は、トラック競技を優先するので、必ずフィールド審判員に連絡をする。

トラック競技終了後、速やかにピットに戻ることに。

8、 リレー競技について

- ①リレー競技オーダー用紙は、ホームページのPDFをダウンロード印刷、または招集所で配布。提出については、招集所に招集完了時刻の1時間前までに提出する。オーダーについて、プログラムリレー種目に記載してあるリレー自チームのメンバー以外をオーダーする場合、その競技者の、本記録会エントリー種目・組・レーン（試技順）をオーダー用紙に必ず記載すること。なお、団体責任者の署名確認記載がない場合、オーダー用紙は受付受理できない。
ただし、同一団体内での複数出場しているチーム内での入れ替えは認めない。補充ならば認める。
(A・Bチームの選手入れ替えは不可。Bチーム棄権でBの選手がAに出場することは可)
- ③リレーのマーカー（養生テープ可）は各自で用意し、使用は1カ所とする。(TR24.4を適用)。自分のチームのマーカーは各自で撤去すること。

9、 表彰

各種目1位～8位に賞状を授与する。

10、 抗議

日本陸上競技連盟、競技規則 規則 TR8. による。「各競技の正式な結果が発表された時刻から30分以内にチームの公式な代表者が口頭でTICに申し立てること」

11、 その他

- ①控所、トイレ等の競技場内外及び付帯設備の整理・整頓に努め、清潔に利用すること。
(各団体の責任者の方へ。ゴミ等の持ち帰り・帰宅途中での不法投棄をしない指導をよろしくお願いします。)
- ②各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。主催者で責任は負わない。
- ③グラウンドには、競技者・競技役員以外は入ってはいけない。競技者は、フィールドを横断して試技場所への往復、本部前通行は慎むこと。
- ④競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。競技参加者は、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。
- ⑤陸上競技場以外のスポーツセンター内施設は、借用していないので立ち入らないこと。
- ⑥主催者が大会で撮影した写真や大会の記録、氏名、所属名等が葛飾陸協HPに掲載されますが、ご理解とご協力をお願いします。